

**題名** 都留文科大学との連携による谷村第一小学校公開研究会について(お知らせ)

本市には、山梨県立臨時教員養成所を起源とし、教員養成を柱として発展し、来年度には創立70周年を迎える都留文科大学があり、教育研究に関する高い知見と、すぐれた研究成果を有するとともに、全国へ多くの教員を輩出しております。これまで、本市と都留文科大学は、学校教育分野ではSAT(サット:学生アシスタントティーチャー)活動を通じて、教職を目指す学生が、小中学校の現場で児童生徒の学習支援を行うなど、連携してきました。

今後、さらなる連携強化をめざし、小中学校教職員の校内研究会や日々の授業に、大学の先生方にご参加いただき、指導・助言をいただくとともに、STERM(スティーム)教育など、教科等横断的な視点での授業の在り方について共同研究を推進し、授業改善を通して、さらに質の高い教育を提供していきます。

この第一弾として、本年度は、谷村第一小学校と大学との間において連携を開始し、11月28日には、加藤学長をはじめとする大学関係者を講師とした公開研究会を開催します。また、講演会では、令和の日本型学校教育の構築にむけた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の在り方や、これからの教育で身につけさせたい資質・能力について、同大学新井仁教授を講師に話を伺います。

日時 令和6年11月28日(木)

公開授業 13:50~14:35

全体会 14:50~16:40

会場 都留市立谷村第一小学校

対象者 市内教職員のほか、県内教育関係者 250名程度が参加予定

公開授業 1~6年生まで、6学級を同時公開

全体会 体育館にて、市長あいさつ、校長による概要説明、大学学長の講評、大学新井仁教授による講演会を予定

**題名** 地元のロボットメーカーによる出前授業について(お知らせ)

本市には、都留興譲館高等学校工業科や産業短期大学校都留キャンパスなど、ものづくりの基礎や応用を学ぶ拠点(教育機関)があり、多くのものづくりに関わる人材を輩出しています。

今後、少子化等による人口減少の影響により、生産年齢人口が不足することが予測されており、先端産業やロボット産業はますます拡大する傾向にあります。また、それら进行操作する人材育成も急務となっています。

そこで、地元のロボットメーカーの協力を得て、中学校技術・家庭科の技術分野の一環として、生徒が、実際のロボットに触ったり、簡易なプログラムによりロボットを動かしたりして、ロボット産業やプログラミングへの興味・関心を高める授業を行います。また、同時にキャリア教育や社会科の授業の要素も取り入れ、日本の製造業の実態やこれから迎える社会がどのように変化していくのかなどについても、スライドを使ってお話しいただき、我が国の社会構造や企業の在り方などについても考えていきます。

**日時** 令和6年12月5日(木)

午前 第3学年1クラス 10:55～12:45

午後 第3学年1クラス 13:35～15:25

※午前・午後ともに、別の学級で同一内容の授業を行います。

**会場** 都留市立都留第一中学校

**内容** 地元のロボットメーカーが、実際のロボットを搬入し、ロボット産業や日本の製造業の実態についてお話しいただくとともに、生徒がロボットに触ったり、プログラムしたロボットを動かしたりする。

**授業** 中学校 技術・家庭科の技術分野の授業として実施する。

一部、社会科、キャリア教育として、合科的に扱う。